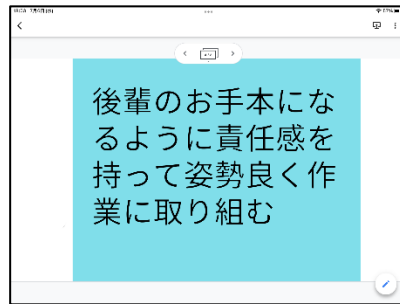
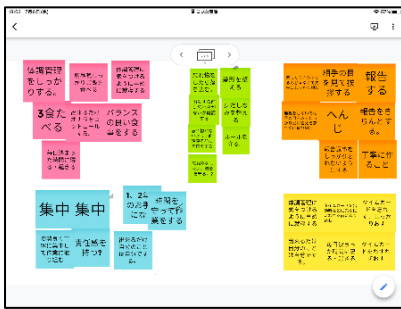


I C T実践シート 中学部②

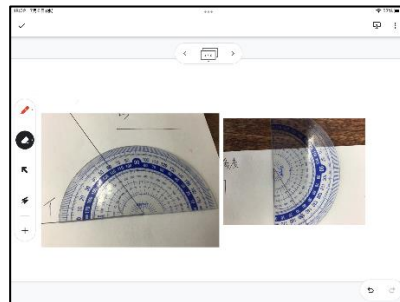
観点	<p style="text-align: center;"> コミュニケーション支援 ・ 活動支援 学習支援 </p>
<p>目的・実態</p>	<p>実態：Ⅱ類型（肢体不自由・知的を伴う）中学部3年生（男子3名、女子2名）そのうちの1名女子生徒は眼振があり数学的な学習での計測などで定規の目盛りを読んだり、定規で線を引くことに苦手意識を持っている。ICTの活用に関しては習熟度に差があるもののローマ字入力ができ、Word、Excel、PowerPointなどを操作する基本操作ができる。</p> <p>【全体で活用目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級内での話し合い活動における言語活動の充実と言語活動を視覚的に捉え、考えを深めるようとする態度を養う <p>【個別での活用目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の補助として拡大鏡や電子黒板の代用
<p>方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用したソフトはGoogleのアプリケーションJamboard。付箋や図形、画面上で直接記入ができる電子版ホワイトボードである。また、アカウントを共有することで複数の人とつながり簡単に意見交換ができる。 <p>【KJ法による話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動では、生徒それぞれが良い考えやアイデアを持ちながら、人前での発表を苦手としている生徒への手立てとして活用した。 ・考えを深める活動を取り入れるため、書くことへの動作速度の差が小さいipadを使用した。 <p>【数学：拡大鏡の代用 国語：電子黒板の代用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語：教科書や学習プリントの要点を分かりやすくするために、カメラ機能で撮影し取り込んだ画像にペン機能で書き込みを行った。 ・数学：図形や計測では課題の問題を上記の方法で拡大し提示した。角度の計測では拡大した図形に分度器をあてて直接計測した。 <p>【それぞれが離れた所で活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語：校内ラリーでリスニングのみで学習を進める取り組みをした。あらかじめアカウントを共有したipadを4グループの生徒ペアに渡し、校舎内の各場所に設置した課題カードを探し出す。課題カードに書かれたアルファベットを全ペアが協力し共有画面に書き込むと最終目的地が示される。
<p>成果（有効だった点／児童生徒の変容等）</p>	<p>【KJ法による話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカウントを共有しそれぞれの意見をリアルタイムで情報交換ができたことで、お互いの意見を認め合い一つのテーマについて考えを深めることができた。 ・キーワードを基に自分の考えをまとめ発表することができた。 <p>【数学：拡大鏡の代用 国語：電子黒板の代用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面の大きさを手軽に変更でき便利であったし、生徒も大きくなり見やすく、正答率が上がった。 ・曜日によって、学習形態が変わるので、他の学習グループと同室で学習を進める

	<p>際黒板の使用制限がある。その代用として活用した。生徒に応じて課題のつまづきが異なるので、写真をそれぞれ用意し書き込みなどをして生徒へ提示した。</p> <p>【それぞれが離れた所で活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒がそれぞれ異なる場所で活動していても、ipad 上でどこにいるのかが T1 は共有画面を通して居場所を把握することができた。また、リスニングのみで、情報を集めるため、よく聴き自分たちでゴールを目指そうと学習に意欲的に取り組むことができた。
<p>課題・改善案</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝える内容をまとめていく経験を積み重ね、会話の中でも自分の意見をまとめ伝え合えるようにしていきたい。 <p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境整備の点で Wi-Fi がつながりにくい場所では、データ更新が遅くリアルタイムの情報共有ができなかった。 付箋機能への文字入力には、長文が向いていないため、使用する際には活用ポイントを検討する必要があると感じた。

【KJ 法による話し合い】



【数学：拡大鏡の代用 国語：電子黒板の代用】



【それぞれが離れた所で活用】

